

AttunityによるMacifのITリソース拡張



MACIFとは…

Macifは、フランスの主要民間保険会社の1つです。メインフレームシステムで一月あたりおよそ3000万トランザクション、データサイズは3テラバイトにも及ぶ処理を行っています

目指したゴール

11にも及ぶ指定地域の保険製品多様性に対する統合ビューの実現

ソリューション

MacifはETLソフトウェアを使用してBIレイヤーを構築しました。そして複製したデータにODBCをを通じたダイレクトで迅速、スタンダードなアクセスを実現するAttunity Connectを使用してアクセスしています。

Macifが得た利点

- ・ソフトウェアメンテナンス及びBIシステムへのロード時間を50%にまで大幅にカット
- ・メインフレームやAdabasによる制限事項からBIチームを解放
- ・コストを上げずに、企業的意思決定を促す最新データへの可視性

Attunity Connectにより、Macifは開発に費やしてきた長い年月の有効活用と、Adabasデータを蓄積する巨大なデータストアを作成する為にETL技術の利用を実現しました。フランスの主要民間保険会社であるMacifは、1つはRiveraコーストから75KM離れたNiortに、もうひとつは560KM離れたMoulinにある、2つのOS/390メインフレームシステムを管理しています。合わせてこの2つのシステムで一月あたりおよそ3000万トランザクション、データサイズは3テラバイトにも及ぶ処理を行っています。

マーケットシェアへの道はよりよい決断から

Macifは、保険、クレジット、従業員給付金、健康、貯蓄、および生命保険といった製品により、個人や彼らの家族に対し、ファイナンシャルプロテクション(顧客の資産を守る)を提供しています。リーズナブルな価格で品質のよいサービスを提供することによって、フランスの自動車や二輪車、マイホーム所有者の保険市場におけるかなりの割合を獲得しました。パートナー及び子会社を含め、Macifは400万人以上のメンバーを抱えるまでになりました。

このマーケットシェアの保護と拡張の為、Macifは、コストを上げずに優れた決定を下す為のよりよい方法を常に探していました。このためMacifの幹部は、現在の、そして移り変わるトレンドの分析と理解の為に、ビジネスのダイナミックで且つ統合されたビューを必要としていました。ただし、この統合された可視性の実現は、保険商品の多様性と、Macifが11の地域に及ぶビジネスを管理している事実から考えて、非常に難しいものでした。

Adabasデータから価値ある情報への容易な道のり

MIS(Management Information Systems)マネージャであるFranchise Quinteau氏と彼のチームメンバーはMacifにはBIレイヤーの構築が必要であり、必要な情報量を扱う為にInformatica社のPowerMartを使用する必要があると決定づけました。このソリューションはETLソフトウェアからAdabasデータに対し、ダイレクトなODBCアクセスを必要としていました。また、それはInterlink(純粋なIBMに対する)、つまり大量データとともにTCP/IPをサポートしなければなりませんでした。

M. Quintreau氏は次のように述べています。

“もちろん、我々は導入と管理が簡単なシステムを欲していました。我々はあらゆるETLソリューションを試してきましたがどのETLを選んででもまだまだAdabasへのETL接続のベストな方法には至りませんでした。我々は、自身で抽出プログラムを構築することはできませんでした。Natural Adabas generatorや、AdabasデータをSQLで操作できるソリューションを買うこともできました。”

しかし、Macifは、サードパーティ製品を探すことを選択し、インターネットで適切な製品を探し始めました。“Attunity Connectはまさに我々の抱える問題を解決してくれるベストなソフトウェアでした”M.Quintreau氏は続けます。“今や我々は全てのAdabasデータソースの複製を行っており、その複製データにODBCをを通じたダイレクトで迅速、スタンダードなアクセスを実現するAttunity Connectを使用してアクセスしているのです”

“IT開発グループは生産性を向上させることができたので、我々は情報に対する管理部門の増え続ける要求への応答性も向上させることができたのです。AttunityによるETLソリューションには大変感謝しています。我社の幹部は詳細なビューをひどければ1カ月も古いデータに依存していたような現実から、日常オペレーションとして実行できるようになりました。この最新データの可視性は企業を通じてより良い意思決定を促す最大の貢献者となりました。”

François Quintreau
MIS Manager
Macíf Group

Macífが得たAttunityConnectの有用性

2003年1月、MacífはAttunity Integration Suite (AIS)を使用した最初の戦略的プロジェクトを立ち上げました。このソリューションにより、マネジメントに対し、災害深刻レポートに対する容易なアクセスを実現しました。以前は、MISチームは全てのAdabasデータに対するアクセスの為、社内開発に依存したので、Attunity Connectは情報に対するはるかに経済的なルートです。M. Quintreau氏は次のように述べています。“まず第一に、インストール及びデプロイが非常に容易でした。更に重要なのは、自身で開発したり管理したりするよりも、Attunity Connectは安価だった、ということです。我々はもはやフラットファイルに依存する必要はなくなりました。そしてアーキテクチャは容易でクリーンなものでした。”

MISチームは生産性向上の為に、ノンリレーショナルデータへのAttunity Connectのリレーショナルアクセスを最大限活用しています。メインフレームやAdabasによる制限事項からBIチームを解放することによって、チームの負荷を軽減しました。加えて、Attunity ConnectはAdabasデータの繰り返しに対するネイティブハンドリングをサポートしているので、既存Adabasデータ構成に対する変更は必要ないのです。

M. Quintreau氏は次のように結論づけています。“Attunity Connectの最も大きな利点は、パワフル且つシンプルな使用感です。Attunity Connectを採用したことは我々にとって非常に喜ばしいことでした。”

企業の意味決定を支援するデータドライブへの迅速なアクセス

M.Quintreau氏のチームはAttunity Connectがもたらした利点を繰り返し述べています。

“Attunity Connectはメインフレームデータへのダイレクトなアクセスを実現してくれました。そして同時に、我々のETL開発ツールのパワーを最大限活用できるようになりました。”

そして、Attunity ConnectはMacífのボトムラインに影響を与えました。

M.Quintreau氏はこれに関して次のように述べています。

“我々はソフトウェアメンテナンス及びBIシステムへのロード時間を50%にまで大幅にカットすることに成功しました。我々のIT開発グループは生産性を向上させることができたので、我々は情報に対する管理部門の増え続ける要求への応答性も向上させることができたのです。”

最後にM. Quintreau氏は次のように締めくくっています。

“AttunityによるETLソリューションには大変感謝しています。我社の幹部は詳細なビューをひどければ1カ月も古いデータに依存していたような現実から、日常オペレーションとして実行できるようになりました。この最新データの可視性は企業を通じてより良い意思決定を促す最大の貢献者となりました。”

■お問合せ先

株式会社

ハイ・アベイラビリティ・システムズ

ソリューション&

コンサルティング事業部

〒108-0023

東京都港区芝浦4-13-23

MS芝浦ビル

Tel 03-5730-8870

Fax 03-5730-8619

inquiry_desk@ha-sys.co.jp

<http://sc.ha-sys.co.jp>

